

令和2年7月22日

福島県知事

内堀 雅雄 様

## 要 望 書

〔 モモせん孔細菌病防除対策、天候不順に伴う農作物被害防止対策及び  
県産農林水産物の流通・販売対策について 〕

福島県議会 県民連合議員会

会 長 瓜 生 信一郎

# 要 望 書

「フルーツ王国ふくしま」を代表する本県の桃は、緻密な果肉と上品な甘みで国内外からの評価が高く、7月から9月まで品種を変えながら全国各地の売り場を彩っています。

しかしながら、間もなく出荷最盛期を迎えようとする本県の桃産地は、近年、モモせん孔細菌病が多発し、収穫量の減少や品質の低下が大きな問題となっています。このような中、令和元年東日本台風による被害に加え、春先の高温、梅雨入り後の長雨により、本年は特に、モモせん孔細菌病が拡大しており、農家所得の減少や産地に対する評価の低下など、非常に大きな影響が懸念されることから、発生状況をしっかりと把握した上で、対策の徹底が必要と考えます。

また、梅雨入り以降、日照不足と長雨が続いており、今後も1ヶ月は日照時間が少ないと予想されています。

このため、水稲や野菜、桃を始めとする果樹などの農作物の生育の遅れや病害虫の発生などの恐れがあり、収穫期を迎える農作物の収穫量の減少や品質悪化が懸念されます。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、牛肉等一部品目において需要の減少や価格の下落など、東日本大震災からの復興途上にある本県農林水産業へ大きな影響を及ぼしております。そのため、感染予防策を徹底した上で、「新しい生活様式」に応じた県産農林水産物の流通及び販売への対策が求められております。

つきましては、下記について、万全の対策を講ずるよう強く求めます。

## 記

- 1 県北地方を中心として全県的にモモせん孔細菌病が多発しているため、発生状況を調査し防除対策を講じること。
- 2 日照不足と長雨に伴う農作物の被害を未然に防止するため、農業者への技術対策の指導を強化すること。
- 3 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う「新しい生活様式」の普及に対応した県産農林水産物の流通・販売対策を講じること。